



伊東・吉田より望む富士山／三井恵美子・画



# 伊東西

会長 村上恵宏 副会長 稲葉雅之  
幹事 三井勇人

例会場 伊東市竹の内1-3-16 暖香園ボウル2F  
例会日 毎週(金曜日) TEL 0557-37-1512  
事務所 伊東市竹の内1-3-16 暖香園ボウル内  
TEL・FAX 0557-37-0036  
ホームページ <http://itowest.rcy.jp>

## 出席報告

	会員数	出席規定 該当者	出席者	欠席者	M. U	出席率
本日	49	44	37	7		84.09%

## ROTARY OPENS OPPORTUNITIES ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021年度 R.I. 会長 ホルガー・クナーク  
第2620地区ガバナー 志田 洪 顯

### 2021.5.21 第2019回例会 No.2019

#### 会長挨拶

皆様こんにちは……。コロナワクチン接種も始まりましたが、まだまだ予断を許さない状況です。引き続き防止対策をお願いします。先日、移住希望地ランキング第1位、最も人気が高かったのは「静岡県」(調査対象：ふるさと回帰支援センター【東京】窓口利用者2020年1～12月) 2019年3位、2018年2位、長野県2019年1位、2018年1位、ここ数年上位を「静岡県」「長野県」「山梨県」で占めています。テレワークも進み首都圏からの近場移住を考える方が急増したことも一つの要因で、実際に首都圏から静岡県への転居は、大掛かりな地方移住という感覚より都内から東京近郊に引っ越すくらいの感覚に近いのではと思います。また、2020年12月に発表された「暮らしやすさランキング」(ソニー生命)においても日本一に輝いています。あくまでも静岡県であり伊東市はどうかかな?と思いますが、気候が温暖、海や川、山などの自然が豊富にあり、その自然の恵みをいただき、私自身も一度、学生時代、社会人になっても伊東を離れていたことで、伊東の良さを改めて実感しています。もっと伊東への移住を勧められるように「伊東への移住に関わる支援制度(助成金、



補助金)を整理活用し、出生数も減少していくなか人口減に歯止めをと思います。ロータリーという組織も活用できたら良いなと思います。

参考：出生数2000年 607人 2017年 325人 2018年 272人 2019年 269人(20年前) 2020年 240人。

- ・育英奨学金(奨学金Uターン支援返金1/2免除)卒業後伊東市に住所。
- ・就業支援 単身で移住60万円 2人以上世帯100万円 東京圏内等から。
- ・起業する場合の補助金。
- ・医療福祉人材確保 新生活 転居費支援など

#### 本日の欠席者

沼田竹広君 東端克博君 勝又隆男君 牧野隆広君  
シャムレツフェル公子君 山本佳洋君 大胡充利君

#### メイクアップ

4/16・4/23は4/27に発生したコロナ感染者のため、欠席者はすべて出席扱いとなる。

#### 幹事報告

6月の例会案内

- ・6月4日(金) クラブ創立記念例会  
点鐘 12:30 会場 暖香園ボウル2F  
夜間例会から通常例会に変更になっています。
- ・6月8日(火) 6月11日(金)を前寄せ  
伊東ロータリークラブ65周年記念合同例会  
点鐘 12:30 会場 ホテル暖香園6階  
ホスト 伊東ロータリークラブ
- ・6月18日(金) 通常例会 卓話 遠藤英夫さん
- ・6月24日(木) 前寄せ  
クラブ協議会 点鐘:18:00 懇親会:19時～

#### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会場 ホテル暖香園6階  
※各例会はリモートで参加可能です。

## ゲ ス ト

加藤佐和子様 北村和子様  
別紙 壮一様 元世田谷RC会員「ドラエモン」  
プロデューサー

## スマイルボックス

- 堀口 武彦君 “明日天気になあれ”皆様の暖かなご支援に支えられた「伊東祐親まつり」は明日から開催されます。“ありがとうございます”明日の薪能には人間国宝の野村万作氏が出演。又明後日の夢舞台はプロ顔負けの舞台です。皆様のご来場お待ちしております。
- 市川 正樹君 昨日、無事に安全運転管理協会の総会を終えました……会員の皆様も自分もちろん事業所の交通事故には十分に気を付けて下さい!!
- 石井 幸弘君 本日は、元世田谷RC会長をやられた、別紙様がゲストで来て頂きました。現在は伊豆高原にお住まいで、サザンのメンバーです。原さんのおかげで上野RCと伊東RCの親睦ゴルフ大変楽しかったです。でもスコアは124でブービー賞を頂きました。雨の日はゴルフをしないことを決めました。
- 稲葉 雅之君 ボッチャ杉村君がんばってます。後援会へのご協力を宜しく願います。
- 原 幸男君 東京上野、伊東RCとの対抗戦、会長幹事の御努力により開催出来、感謝その上団体優勝をかちとり、うれしい限りです。
- 村上恵宏君・三井勇人君 先日原さんとの縁あって第2回目の上野RC、伊東RC、3クラブ親睦ゴルフコンペ、西RC団体優勝しました。ありがとうございました。
- 北村 勲君 本日の卓話は、家内と家内の友達をゲストとして呼びしております。宜しくお願いします。

## 卓 話

担当 北村 勲君

### 故郷は異文化だった

加藤佐和子様

「文化の冰山」というモデルがあります。文化には、水面上の見える部分と残りの90%の見えない部分があるという理論です。水面下の見えない部分は、長い間に培われてきたもので、無意識に行っているものが多く、他の文化で育った人はショックを受けることがあります。伊東高校卒業後、東京の都会生活に慣れた私は、51年ぶりに故郷に移住をしてカルチャーショックを感じたのです。



「手続きは簡単に」「待ち時間はできるだけ短く」と、サービスが合理化された東京から引っ越したばかりに、荻簡易郵便局に行った時のことです。認知症らしきお婆さんの話を職員が親身に聞き、しかも、周囲の職員も客も静かに見守っている光景をみてびっくりしました。バスに乗った時、杖をついたお婆さんが停留所に着いて立ち上がって料金を払うまでのゆっくりとした動作を、中にいる乗車客はイライラした様子もなく、「当たり前のこととして」静かに待っていました。数日前まで一分一秒を惜しみ、出発のベルと競争して電車に乗り込んだり、前の客がぐずぐずしているのをイライラしていた私としてはカルチャーショックを感じました。また、カード生活に慣れていた私は、現金での会計でよくモタモタしました。そんな時に「ゆっくりでもいいですよ」そう店員さんは声をかけてくれました。高齢者の私は、この言葉に何度も助けられました。ある日、大池小学校から帰ってくる子供達に「こんにちは」と挨拶されびっくりしましたが「おかえりなさい！」と挨拶を返しました。私は自分の子供に「知らない人には挨拶をするな！」と育ててきました。でも挨拶を交わすことで、この地域に属しているという地域に対する愛着が生まれてきました。こうした場面は、伊東では特別なものではなく、日常の光景だと思えます。高齢者は堂々と自分のペースで行動し、周りの人もそれを当たり前だと思って一緒に時間を自然に過ごしている。私がすっかり忘れていた、ふるさとの優しい文化であり、“生きやすさ”です。

(担当 大川起作)

### プログラム予定

6月4日(金) クラブ創立記念例会  
6月8日(火) 6月11日(金)を前寄せ 伊東RC65周年記念合同例会